

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査書

都道府県名	福岡県	事業実施主体	福岡県、篠栗町	地域再生計画名	「ささぐり安心安全で活力ある町づくり計画」
計画期間	令和元年度～令和5年度	評価責任者	福岡県福岡農林事務所森林土木課、篠栗町産業観光課		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	年度	基準年度	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	林業従事者の増加 (篠栗町の林業従事者数)	6人	H29	7人	R3	6人	8人	R5	×	3	2	中間目標値を下回っているが、木材生産量の増加が図られており、林業従事者の増加が期待されることから、引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指していく。
	指標2	林業の振興と森林整備の促進 (木材生産量の増加)	1,300 m3/年	H29	1,600 m3/年	R3	5,689 m3/年	2,500 m3/年	R5	○	3	2	中間目標値以上の数値となっており、目標達成の見込みである。
	指標3	観光の活性化 (年間観光入込客数の増加)	10 万人/年	H29	10.6 万人/年	R3	10.7 万人/年	11 万人/年	R5	○	3	2	中間目標値以上の数値となっており、目標達成の見込みである。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (R3)	最終実績 見込み								
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）		270m	270m	270m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、100%と計画どおりの進捗が図られた。							
	林道整備事業（整備延長）		3,500m	2,486m	3,452m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約71%と計画どおりの進捗が図られており、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
その他の事業	荒廃森林再生事業		荒廃した森林を再生し、公益的機能が十分発揮できる緑豊かな森林地にして次世代へ引き継ぐため、森林の整備（間伐等）を行う。			公益的機能が十分に発揮できる緑豊かな森林へ導くため、荒廃した森林の整備を実施することができた。							
	森林環境保全整備事業		計画的に行う搬出間伐等の森林施業と、これと一体となった森林作業道の開設を行う。			搬出間伐等の森林施業と作業道開設に対し補助支援を行うことにより、計画的な森林環境の保全整備を推進することができた。							
	森林保全再生整備事業		森林の有する公益的機能を発揮させるために必要な鳥獣の誘引捕獲を行う。			鳥獣被害により、森林の有する公益的機能の発揮に影響を与えないよう、誘引捕獲を行った。							
	森林セラピー事業		森林の自然資源を活用し、集客事業を行う。			森林セラピーウォーキングデーを実施した。							
	観光トイレ整備事業		篠栗町内の観光地において、トイレ等を整備する。			令和2年度に観光トイレの指定を1件追加。引き続き整備を目指していく。							
計画外で独自に実施した事業													
③評価方法	篠栗町地域再生計画評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	篠栗町のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域のネットワークを強化することで、地域の主たる産業である林業における木材搬出の効率化による木材生産量の増加や地域に点在する観光資源へのアクセスの改善による観光交流人口の増加を図ることにより、当該地域を活性化することを目的としている。なお、指標については、現時点で目標達成の見込みが高く、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無） 令和5年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応													